

認定NPO法人あしぶえ

第 18 期
事業報告書

令和 4 年 4 月 1 日 から

令和 5 年 3 月 31 日 まで

松江市八雲町平原 481-1

特定非営利活動法人 あしぶえ

コロナ禍の中で 第7回松江・森の演劇祭を開催！

5年振りに開催した国際演劇祭は、
3つの困難な課題を乗り越えて成功に導いた演劇祭でした。

文化庁補助金が不採択となってコロナ対応の10割補助金を獲得した！
文化庁補助金は、22年間採択されており、劇場が取得するには最良のものでした。急遽、演劇祭準備の合間を縫って3助成金を申請し採択されましたが、それぞれに助成条件等が異なっており、多大な時間を費やすことになりました。

海外からの入国ビザを初めて取得して予定どおりの開催できた！
コロナ禍で、「興行ビザ」がなければ入国できないため、初めて行うビザ申請の手続きに多忙を極め、多大な労力を費やすことになりました。

あらゆる場面での無駄をなくし、スタッフ努力で成功に導いた！
公演プログラム以外は簡素にして、種々の値上がりにも耐えながら、あらゆる面でのスタッフ努力によって演劇祭を成功させました。

このように様々な困難を乗り越えることは大変なことでしたが、演劇祭終了後にスタッフ全員が、「今回ほど準備が楽しかったことはない」と異口同音に語っていました。5年振りの開催に燃えた当法人スタッフのレジリエンスの高さを、誇りに思います。

本年度も厳しい状況に負けないで
皆さまに喜んでいただけるように更に努力して参ります。

2023（令和5）年5月14日

認定NPO法人あしぶえ
理事長 園山土筆

レジリエンス：困難な状況にもかかわらず、しなやかに対応していく力

総会

項 目	第17回通常社員総会
日時・場所	日 時：2022（令和4）年5月15日（日）10時～11時40分 場 所：しいの実シアター 出 席：正会員51名（出席13名、委任状38名）
審議事項	・定款変更の件の承認 ・2021（令和3）年度 事業報告、決算報告、会費報告 ・2022（令和4）年度 事業計画、収支予算、役員変更報告

理事会

第1回理事会（通算116回）	令和4（2022）年5月9日（日）
第2回理事会（通算117回）	令和4（2022）年5月12日（木）
第3回理事会（通算118回）	令和5（2023）年1月30日（月）

他団体の事務局運営

八雲町地域振興活動団体交流会（やくもネット）事務局とポータルサイトの運営
島根演劇ネット事務局と島根次世代育成事業のとりまとめ

インターンシップ受入・視察受入・職員研修・

項 目	事業名	月 日	場 所	人数
インターン シップ	島根県立大学、 早稲田大学、島根大学	令4 8/31～9/4、9/12～ 9/16、 令5 3/23～27	しいの実シアター	合計 7名
劇場見学	八雲中学校1年生	令4 9/21	しいの実シアター	5名
研 修	公立劇場の未来について	令5 1/13	政策研究大学院大学	2名

<令和4年度事業報告> 法人事業 ① 劇団公演事業

事業名	「ゼロ弾きのゴーシュ」隠岐島文化会館	入場者数 参加者数	合計600人
趣 旨	（公益財団法人）隠岐の島町教育文化振興財団からの招へいをうけて上演する		
事業概要	【日程】令和4年11月27日（日） 一般町民対象 1回 28日（月） 隠岐島中学生団体観劇 1回		
事業成果	町民対象一般向け公演では、幼児から高齢者までが、英語入りセリフを楽しんだ。隠岐島後の4つの中学生対象公演では、真剣に舞台に集中していた。感想文の内容も作品のテーマが明確に伝わっていることが分かるもの劇団員を喜ばせた。		

< 令和4年度事業報告 >

法人事業 ②表現・コミュニケーション能力育成事業

小・中・大学		実施月日	実施場所	受講者数	回数
八雲町	松江市立八雲小学校 (次世代育成事業)	R4/6～R5/2	八雲小学校	のべ555名	19回
松江市	島根県立大学4年制学部 教育保育学科 1年生	R4/4/7	県立大学松江 体育館アリーナ	43名	1回
	島根県立大学短期大学部 保育学科 1年生	R4/4/20	県立大学松江 体育館アリーナ	42名	1回
	松江市立忌部小学校2年と5年 (芸術家派遣事業)	R4/6、9/29	各教室	43名	1回
	松江市立義務教育学校八束学園 (次世代育成事業)	R4/6、9/29	松江市立義務教育 学校八束学園	のべ128名	5回
東部	飯南町立頓原中学校 (芸術家派遣事業)	R4/9/9	飯南町頓原中学校	38名	2回

企業、地域、PTA、その他		実施月日	実施場所	受講数	回数
東部	保育士スキルアップ研修(東部)	R4/8/29	松江市合同庁舎 講堂	57名	1回
	どんぐり館ファミリーサークル	R4/5/14	どんぐり館	16名	1回
	どんぐり館 星キラママワークショップ	R4/10/5	どんぐり館	6名	1回
	飯南町「わくわく交流会」	R4/10/16	ふれあいホールみせん	64名	1回
西部	保育士スキルアップ研修(西部)	R4/8/3	浜田合同庁舎	8名	1回
合 計				957 名	34回

＜令和4年度事業報告＞ 法人事業 ③ 誘 客 事 業

事業名	森の劇場でお花見を！
人 数	目標100人 実績 748人
趣 旨	桜を通して周辺環境の魅力を市民に周知し、演劇に興味・関心が薄い人にも足を運んでもらい、しいの実シアターの認知度アップを目指す。
概 要	令和4年3月30日（水）～4/3日（日） 9：00～17：00 しいの実シアター 土・日のミニマルシェ開催は10：00～15：00
成 果	観劇にきたことが無い来場者が多く見られた上に、劇場見学する人もあり、お花見をキッカケにしてシアターの活動に興味を持ってもらうことができた。

事業名	落ち葉を集めよう！ — 腐葉土にする落ち葉集め みんなで焼いも —
人 数	目標100人 実績 748人
趣 旨	家族連れの参加を募り、落ち葉集めと焼き芋を楽しみ、シアターへの愛着を育てる。
概 要	令和4年11月23日（日）
成 果	雨天のため中止

＜令和4年度事業報告＞ 法人事業 ③ 物 販 事 業

しいの実シアター・かやぶき交流館での物販事業



＜令和4年度事業報告＞ ④しいの実シアターの管理・運営事業

成果1 3助成金で「指定管理事業」「演劇祭」を連携させて成果を得た。

文化庁の「コロナ禍からの復興支援」の3助成金を獲得したが、多大な時間を要した。理由は、

- ① 10割補助であったため全国から応募が殺到し、選ぶための厳しい質問が相次いだ。
- ② 演劇祭全体に掛かったシャトルバス代等は、認める助成金と認めない助成金があった。
- ③ 中山間地の不便な地で実施していることが理解してもらえず、詳細説明文を度々要求された。

成果2 難解な興行ビザ取得の知識を得た

コロナ禍の中「観光ビザ」での入国が不可となり、「興行ビザ」取得に時間と労力を費やしたが20年以上演劇祭を開催してきた経験と海外事情にたいする想像力が事務処理能力を高めた。

成果3 大学主催のラウンドテーブルでシアターの存在価値を広めることができた

演劇祭終了翌日には、シアターで政策研究大学院大学主催のラウンドテーブルが開催され、垣内恵美子名誉教授、フランス・第一パリ大学のクサビエ・グレフ名誉教授、松江市から松尾純一文化・スポーツ部長、劇場から芸術監督の園山土筆が参加して「劇場の役割」等について話し合い、約80名が来場し、劇場の存在価値を広めることができた。

成果4 クラウドファンディングでシアター広場に灯りを設置した

今まで、シアターで、夜間開催事業の際には、足元が暗かったが、安全・安心と夜の景観アップのために、クラウドファンディングを行い、合計510,101円を集め、10月中旬、ぼんぼり光環境計画（東京）による灯りが設置され、演劇祭開催に間に合わせる事ができた。

公演事業 1

事業名	第7回松江・森の演劇祭上演 「GO！」 フランス
入場者数	目標：2ステージで152人 実績157人
作品内容	人生を振り返る老いた女性の孤独とこれからの生きる時間を考える作品で、黒幕に白いテープで瞬時に描く過去の思い出は、類稀なる演出である。
事業概要	【日程】 令和4年11月5日（土）
事業成果	過去に感動した人たちの口コミで観客層が広がった。自分の今までの人生と重ねて観劇する高齢者。子どもたちは、セリフがなくても心が伝わることに驚いていた。



公演事業 2

事業名	第7回松江・森の演劇祭上演 「GABEZ LIVE MANGA」	日本
入場者数	目標：3回公演で210人 実績：245人	
作品内容	東京五輪開会式で人気だったパフォーマーが、見事なマイムショーを見せてくれる。	
事業概要	【日程】 令和4年11月6日（日） 【対象】 3歳未満不可 無言語	
事業成果	出演者の人柄が演技に反映してとてもよい舞台となり観客も大満足していた。しいの実シアターの劇場の良さを実感し、このような劇場を建てたい、と言っていた。	

公演事業 3

事業名	第7回松江・森の演劇祭上演 「セロ弾きのゴーシュ」
入場者数	目標：2ステージで152人 実績：179人
作品内容	今回は国際的な演劇祭であるため、英語セリフにも磨きをかけて上演する。
事業概要	【日程】 令和4年11月13日（日） 【英語指導】 リン・マーフィー
事業成果	演劇祭では一番先に売り切れた。補助金で、楽手全員が出演できよい舞台となった。



普及啓発事業 1

事業名	しいの実シアター未来学校 ―劇で遊ぼう！―
参加者数	2回で40人程度 実績：2回で36人×3日間＝延べ108人
趣 旨	子どもの自主性を最優先にして実施する。1回開催を2回開催とする。
事業概要	【日時】 1回目 令和4年7月29日（金）30日（土）31日（日） 2回目 令和4年8月5日（金）6日（土）7日（日） 【費用】 1人につき4,000円 【講師】 田中小百合 有田美由樹
事業成果	運営主眼である「子どもたちの自主性を引き出す」を基にして確かな成果を上げた。日曜日の発表会には、家族連れが子どもたちの成果を観に訪れ、満足していた。

貸館事業

コロナ禍が収まって、今年度は9団体による26回の貸館を行い、利用者数は1380人。

施設管理

○法面災害復旧工事

令和3年7月、8月の豪雨によりシアター法面が崩落し応急的処置を行っていたが、令和4年10月に災害復旧工事が行われて11月の「松江・森の演劇祭」開催に間に合った。

○男子トイレ改修工事

1階男子トイレの和式大便器が洋式に改修されて演劇祭開催に間に合い、利用度が高まった。

○キュービクル機器交換工事

劇場建設から27年が経過しキュービクル機器の劣化が心配であったが、演劇祭が無事に終了した11月後半から交換工事が行われた。

○法面ステップ設置工事

草刈りの際、法面は傾斜がきついので足場を設置し、草刈り作業が安全で容易になった。

○駐車場調査

駐車場不足の改善のため、今後、駐車場を確保する必要があるかを検討するための調査が行われた。



＜令和4年度事業報告＞ ⑤かやぶき交流館の管理・運営事業

「第7回松江・森の演劇祭」の交流拠点として賑わった！

年度後半はコロナ感染力が収まり全館貸館が戻ってきた

11月5日から13日までは、「第7回松江・森の演劇祭」のポップアップショップを、駐車場はマルシェと昼食スペースとして賑わった。

3年度にアプローチの路面改修により玄関前まで車が入れるようになり、デイサービス利用者や、イベント時の荷物搬入が便利になったと、大変喜ばれている。



＜施設利用（使用）者数＞

松江・森の演劇祭など6団体等が使用し、2081名が使用した。

＜施設管理＞

- ・事務室コンセント増設（4/13（水））
- ・AEDパッド交換（6/6（月））
- ・建物自主検査（7/2（土））
- ・板の間障子貼替（3/6（月））

＜課題＞

- ・駐車場の白ライン引きの必要性和かやぶき屋根の疲弊が進んでいる。

<令和4年度事業報告>

⑥ 松江・森の演劇祭委託事業

事業名	第7回松江・森の演劇祭
会期	令和4年11月5日（土）～13日（日）
会場	松江・森の演劇ゾーン しいの実シアター100席、平原会館80席、大型テントは作品により100席～180席 かやぶき交流館、平原農村公園、八雲町構造改善センター駐車場
開催目的	子どもたちから高齢者まで様々な人たちが、世界の多様で創造的な表現に触れて、演劇の楽しさ・深さと感動を味わうことによって、明日への豊かな暮らしに繋がっていくことを目指す。そして、演劇祭を企画・運営するスタッフとクルーが、Bit by Bitの精神で演劇祭を長く続けることによって、ひとの力・まちの力が増して、松江のまちが<国際的で柔軟な感性が広がるまち・市民が誇れるまち>になることを目指す。
上演劇団	ポリーナ・ポリソヴァ（フランス）、GABEG、劇団あしぶえ、クレドシアター（ブルガリア）、コーパス（カナダ2作品）、人形劇団むすび座、びり&ブッチィ人形劇団プーク、Witty Look、ドロップ 合計4カ国10集団11作品
特記事項	

事業成果

【全体】

- ・新型コロナウイルス感染拡大により2年延期し5年ぶりの開催。コロナ禍の中で大成功。
- ・初めて、しいの実シアターを中心とした<松江・森の演劇ゾーン>で実施。
全会場が見渡せるため、観客・ボランティア・クルー共に大好評。

【来場者数】

- ・3つの小劇場における1日の総客席数は満席720人という小さな国際演劇祭。
- ・初めて2週連続とし、土日の4日間は一般向けの公演、平日4日間は小・中団体観劇が実現。
- ・感染対策実施で総観客数は2,775人。総来場者数は延べ8,222人、ボランティアは延べ420人。

【経費】

- ・コロナ10割支援の3つの補助金を獲得。63社からの企業寄付274万円、個人寄付約76万円、クラウドファンディングで約104万円、合計約455万円を集めて実施した。

【上演】

- ・1歳から100歳の全世代対象に、芸術性と娯楽性を合わせ持つ作品であること、観劇経験の多少を考慮して初級、中級、上級の作品を選定。難しいとか分からないという声は聞かれなかった。

【ボランティア・クルー】

- ・クルーの準備負担を軽くしてクルー同志が心をつにし、自らも演劇祭を楽しむことを目指した。クルーもスマートフォンのラインで相互連絡等が簡便になった。
- ・アンケートでは、81%の観客がボランティア・クルーの対応に満足していた。

【設備】

・平原農村公園の大型テントは雨天・荒天を避けるために設置。子どもたちには大好評。期間中2日が雨天であったが、安心して観劇できると好評。

【輸送】

・福祉法人みずうみの協力を得て、グリーンモビリティカー（7人乗り運転手付き）を導入。シアターの高低のある場所で運行し、高齢者、子ども、障害者から喜ばれた。

【興行ビザ】

・コロナ禍のため入国のためのビザが必要となり、何カ月にも渡るスタッフの努力によってビザ申請・発給が認められた。20年以上の演劇祭開催経験と想像力があらゆる面で役に立った。

【マルシェ】

・演劇祭の開催目的を理解してもらった上で「マルシェ」及び「POP UP SHOP」を実施した。これにより観劇に関心を示さない市民も迎え入れることができ、次回来訪に繋がった。

【アンケート】

・政策研究大学院大学の「課題解決型シアターマネジメント講座」をスタッフ2名が5年間学んだ成果により、大学開発のスマホアプリによる観客アンケートを実施。公演翌日には正確なデータが入手でき、エビデンスの取得が効率化された。

今後の課題

【経費】

・今回の3助成金はコロナ復興支援であったため今後は実施されない可能性があり、今後の演劇祭経費に大きな不安を残した。

【興行ビザ】

・「興行ビザ」取得により、ブルガリアとカナダが日本国に支払うべき上演料の税金を主催者が支払うことになった。租税条約によりフランスは免除。今後は常時、税金分の予算増が予想される。

【チケット販売】

・今回から電話またはWEB予約のみとした。結果、98%がWEB予約だった。今後は急速にデジタル化が進んでいくだろう。

【宿泊】

・コロナ禍により、熊野館レストランが夜間営業中止となり、輸送委員会メンバーは、毎晩劇団員を繁華街へ送迎し、過重労務・過重活動となった。

【スタッフ】

・5年前の演劇祭のほぼ半額の人件費でまかなうことを余儀なくされ絶対的な人員不足でスタッフの健康状態に不安を感じる事が度々であった。大変な多忙さであったにもかかわらず、終了後。スタッフ全員が「今回ほど準備が楽しかったことはない」と異口同音に話していた。スタッフ全員のレジリエンスの高さを誇りに思う言葉であった。



しいの実シアターでの上演事業

作 品 名	「父さんのすることはいつもよし」 クレドシアター（ブルガリア）
入場者数	実績：一般公演 2 ステージ：143 人 小・中生団体観劇 6 ステージ：584 人。
作品内容	ありのままの自分を認めてくれる人の大切さを表現するアンデルセン童話。 上演 60 分を日本語で表現する。創造性の高さは見事。
事業概要	【日程】令和 4 年 11 月 8 日（火）9 日（水）10 日（木） 【上演回数】8 ステージ 【対象】小学生以上 日本語
事業成果	松江市内の小・中学校生は、初めて演劇を見る子どももあり、60 分間日本語上演することに大変驚いていた。

大型テントでの上演事業

作 品 名	「飛行隊」 コーパス（カナダ）
入場者数	入場者数 152 人
作品内容	愛してやまない飛行機を失った飛行隊が、大空を飛びたいという思いから生まれる風変りな訓練模様は、観客をひきつけて笑いを誘う。
事業概要	【日程】令和 4 年 11 月 5 日（土） 【対象】小学生以上 多言語
事業成果	演劇にあまり興味・関心を持たない男性にも、演劇の楽しさを知ってもらいたいと企画。他会場よりも男性が多く入場しねらい通りの結果となった。

作 品 名	「ひつじ」 コーパス（カナダ）
入場者数	4 回公演 入場者数 331 人
作品内容	カナダのダンサーたちが、まるで本物のひつじになって生態を演じる。 見事な表現技術に、演劇初体験の人たちには、もってこいの愉快的な作品。
事業概要	【日程】令和 4 年 11 月 6 日（日）～ 8 日（火）【上演回数】4 ステージ 【対象】1 歳以上 無言語 【料金】2,500 円 18 歳未満 500 円
事業成果	5 回目だが、何回上演しても、その高度な表現力はダンサーだからこそそのもの。市民が話題にして広がってきた。7 日は松江市役所でサービス上演を行った。



作 品 名	「びりとブッチー」 日本
入場者数	108 人
作品内容	「クラウン（道化師）」は、俳優表現技術の中で一番難しい。言葉がないので、小さな子どもから大人まで一緒に笑って楽しめるエンターテインメントコメディ。
事業概要	【日程】令和4年11月12日（土） 【対象】3歳以上 無言語
事業成果	ショートストーリーが詰め込まれた演目で、出演者2名の間や表情、動作は計算され尽くされた技術だが、観客にとっては、ただただ楽しい時間だった。



作 品 名	「CARTOON」 Witty Look（日本）
入場者数	242 人
作品内容	一輪車元世界チャンピオンの DAIKI と高いコメディ性をもつクラウンの CHEEKY が生み出すシアターサーカスは、世界26か国3000ステージで評価されている。
事業概要	【日程】令和4年11月13日（日） 【対象】3歳以上 無言語
事業成果	作品内容に満足し、事故の大怪我を乗り越えての最初の公演だったことが告げられると、多くの観客がその言葉に感動していた。

平原会館での上演事業

作 品 名	「どんどこももんちゃん」「かみなりカレー」人形劇団むすび座（日本）
入場目標	122 人
作品内容	小さいけれどパワー全開のももんちゃんが、まっしぐらに進む姿を描く。 「かみなりカレー」は、年の離れた二人の友情物語。
事業概要	【日程】令和4年11月5日（土） 【上演回数】2ステージ 【対象】1歳以上 日本語 【料金】一般：2,000円 18歳未満500円 【出演】
事業成果	心に響く作品を取り上げて丁寧に作り上演する度に改善を重ねている劇団。他劇団の作品を観劇して学んでいるため、国際演劇祭にふさわしい劇団である。



作品名	「100 万回生きたねこ」	ドロップ（日本）
入場者数	164 人	
作品内容	100 万人の飼い主はねこが死ぬと泣くが、ねこは 1 回も泣かない。 ところが白いねこに会い、自分の生き方が大きく変わる。	
事業概要	【日程】令和 4 年 11 月 6 日（日） 【対象】3 歳以上 日本語	
事業成果	有名な絵本の原作で、若い上演劇団にとっては、脚色・舞台化は難しさを伴ったはずだが、様々な工夫が重ねられており観客の満足度は高かった。	

作品名	「ふしぎな箱」「オカピぼうや」	人形劇団プーク（日本）
入場者数	162 人	
作品内容	たくさんの箱がくるくると宇宙になったり恐竜になったりするふしぎな箱。 目を覚ますとお母さんがいない？そこでお母さんを探しに大冒険へ出発する	
事業概要	【日程】令和 4 年 11 月 12 日（土） 11 月 13 日（日） 【対象】3 歳以上 日本語	
事業成果	歴史も実力も国内トップクラスの人形劇団だが、上演作品名の知名度が低いこと、人形劇の面白さが市民に普及していないことなどにより、入場者数が少なかった。	



2022(令和4)年度 会費報告

2022(令和4)年4月1日から2023(令和5)年3月31日まで

認定NPO法人 あしぶえ

会員の種類		2021(令和3)年度	2022(令和4)年度	増減	会費納入状況
正会員	団体	7件	7件	増減なし	完納
	個人	48名	47名	-1名	完納
創造活動会員		15名	15名	増減なし	完納
サポート会員	団体	8件 12口	8件 12口	増減なし	完納
	個人	219名 905口	212名 871口	-7名 -34口	完納

会員 地域別区分

会員区分		住所地	団体数・人数	合計
正会員	団体	松江市内（八雲町を除く）	3団体	7団体
		八雲町内	3団体	
		出雲市	1団体	
	個人	松江市内（八雲町を除く）	16名	47名
		八雲町内	16名	
		県内（上記を除く）	7名	
		県外（大阪府、奈良県、広島県、福岡県）	8名	

会員区分		住所地	団体数・人数	合計
サポート会員	団体	松江市内（八雲町を除く）	7団体	8団体
		八雲町内	—	
		大田市	1団体	
	個人	松江市内（八雲町を除く）	65名	212名
		八雲町内	53名	
		県内（上記を除く）	34名	
		県外（東京都、神奈川県、岩手県、埼玉県、茨城県、静岡県、愛知県、大阪府、京都府、奈良県、鳥取県、広島県、山口県、香川県、高知県、福岡県、長崎県、鹿児島県）	60名	

団体会員(15団体)の地域別の割合



個人会員(259名)の地域別の割合

